

事業実績書

事業名		星空映画庭
場所		プラサヴェルデ屋上庭園
期間		2025 年 4 月 14 日 ～ 2026 年 5 月 30 日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 事業内容 『星空映画庭』は、沼津市の高校生団体「沼津ハイポート」が主催する屋上庭園ナイトシアター事業です。主に親子と若者を対象とし、プラサヴェルデ屋上庭園にて映画上映を行います。人工芝を設けた開放的な空間で、ポップコーンや缶ジュースなどの飲食販売も実施します。クッションや毛布など、個人で持ち込み可にし、映画館では味わえない夜空の下で、風を感じながら映画を楽しめるアットホームな空間を提供します。 実施場所 プラサヴェルデ屋上庭園 参加対象 問わず。先着 50 名 人員 メンバー計 7 人＋大人サポーター四人
	4/1 ～4/23	日曜日に沼津市青少年教育センターにて、会議を行い、イベント実施に向けて準備を進める。また、平日夜に LINE 会議も行い、進捗状況を確認する。(イベントの具体化／「スキマ cinema」代表の大木さんと相談会を実施) また、施設・映画・広報・装飾の購入、確認をすすめる。 施設：プラサヴェルデの使用許可をとり、屋上庭園のレイアウトを決定する。人工芝の貸し出しを行う。 映画：映画の決定。MMC に連絡を行い、映画の使用許可 を取る 飲食販売：ポップコーン、缶ジュース、チップスの購入。衛生上の注意点の確認をする 広報：広報ポスターの作成。小学校へチラシの配布。ハイポートのInstagram を使って告知を本格的にスタートする。広報用の写真・動画を撮影する。 装飾：電球、飲食販売コーナーの装飾アイテムを購入する。ポップアップを制作する。 募集開始。Peatix にて公式サイトをオープンし、先着 50 名様への申し込み受付を開始する。申込者には、注意事項のメールを送信する。 イベント実施に向けて、当日の動きを具体化し、最終確認を行う。 (スケジュール作成、シフト割り振り、開演と閉演の一言の準備)
	4/24 前日	プラサヴェルデの屋上庭園の視察、当日のレイアウト、機材、天 気、風、明るさ等を確認する。) 屋上庭園に機材搬入。PA 以外を設置する(椅子・テーブルの配置を行う。人工芝を敷く。) 広報用の動画を撮影する。

4/25 当日	準備 メンバーは午前10時に集合する。当日の準備を行う（ポップコーン調理開始、装飾、施設内の案内板を貼る、映画プロジェクターの設置とテスト上映。BGMをかける。トランシーバーを装着する。） 「映画上映コーナー」「飲食販売コーナー」「飲食コーナー」を準備する。映画の上演時間は18時半から20時半。「飲食販売コーナー」は、1時間半前の16時にオープンする。 イベント開始 受付にて、金銭を管理し、来場者を確認し、リストバンドをつける。また、駐車場無料券も渡す。 受付が完了したのち、飲食コーナーにて購入必須の1000円セットを受け取る。映画上映コーナーに進み、通路受付にて入場者を確認する。映画コーナーでは、案内アナウンスを映画上映30分前と10分前に行う。上映開始直前に代表・十河楓から一言スピーチを行う。 映画上映中 ポップコーンのお代わりが無料で可能。お手洗い等の案内を行う。 映画上映終了後 帰り際にアンケートの協力をお願いする。売れ残った飲食を値下げして販売する。 片付け すべての機材を片付け、椅子・机をもとの位置に戻す。キッチンを片付ける。
事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 社会的必要性 9/10 来場者の大半が中学生以上であり、小学生以下の子どもに対して芸術に触れる機会を十分に提供できたと言い難い結果となりました。一方で、高校生同士や親子、ご夫婦での来場が見られ、世代を超えた交流の場として機能したことは大きな成果であるといえます。また、屋外の自然環境の中で映画を鑑賞するという「非日常的な体験」を提供することができ、来場者に新たな価値を感じていただけた点において、本事業の目的は概ね達成されたと評価できます。 地域性 9/10 来場者の居住地は、沼津市内が40%、三島市が36%、その他地域（長泉町、伊東市、富士市、裾野市、清水町）が24%という構成でした。沼津市外からの来場者も一定数見られ、広域的な集客につながったといえます。また、会場であるブラサヴェルデ屋上庭園について「初めて知った」という声も多く、地域資源の認知向上にも寄与しました。さらに、「高校生が主体となって運営している点」に関心を持ち来場された方もおり、地域における新たな交流・関係構築のきっかけを創出できたと考えられます。 独創性 10/10 本イベントは、従来の映画館のように固定席で静かに鑑賞する形式とは異なり、人工芝の上で自由な姿勢でくつろぎながら、家族や友人と感想を共有できる鑑賞スタイルを採用しました。このような形式により、来場者は従来とは異なる映画体験を楽しむことができ、新しい鑑賞文化の提案として独創性の高い取り組みであったと評価できます。 実現性 10/10 来場者が各自で毛布やクッション等を持参したことにより、運営側での貸出対応が不要となり、備品費およびクリーニング費用の削減につながりました。また、ブラサヴェルデ館長のご協力により、屋上庭園および予備会場であるコンベンショ

	ンホールBを無償で使うことができ、さらに駐車場の無料対応も実現しました。飲食販売においては、石田茶業様に食品衛生管理者として関わっていただき、消毒や衛生管理を徹底することで、安全な運営体制を確保しました。これらの点から、限られた資源の中で適切かつ効率的な運営が実現できたといえます。 発展性 9/10 本イベントでは、高校生が主体となって企画・運営を行った点に対し、多くの来場者から関心が寄せられました。特に、同世代の高校生や地域の大人からの関心が高く、今後の活動への広がりが期待されます。また、Instagramのフォロワー数が本イベントを通じて大幅に増加しており、地域イベントへの関心の高まりとともに、継続的な情報発信基盤の強化にもつながりました。これらの成果は、今後のイベント開催や新たな参加者・運営メンバーの獲得につながる可能性を示しており、本事業の発展性は高いと評価できます。 さらに、アンケート結果において、「今後もこのようなイベントに参加したいか」という設問に対しては、回答者の100%が参加意向を示す結果となりました。また、イベント全体の満足度については、5点満点中4.84点と非常に高い評価を得ており、来場者の満足度の高さが確認されました。これらの結果から、本イベントは参加者にとって高い価値を提供できたとともに、今後の継続的な開催に対する期待も大きいことが示されたといえます。
自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 本事業は、全体として成功裡に実施することができたと評価します。準備段階から工夫を重ねてきた内容について、来場者の皆さまにご満足いただけたことは大きな成果であり、アンケート結果においても高い満足度および今後の参加意向が示された点から、本イベントの有効性が確認されました。 また、当日の運営においては、事前に役割分担を明確にし、トランシーバーを活用した円滑なコミュニケーションを図ることで、準備から上映中、撤収まで大きな混乱なく進行することができました。運営体制としても、一定の実現性と再現性を確保できたと考えられます。 来場者の約半数を中高生が占めたことは、沼津ハイポートの活動を若い世代に周知する良い機会となりました。これを契機として、地域活性化に関心を持つ若者の増加につながることが期待されます。さらに、来場者から温かい応援の言葉や差し入れをいただくなど、地域の方々とのつながりを実感できた点も、本事業の大きな意義であるといえます。 一方で、当初は子ども向けの要素も意識した企画であったものの、実際の来場者は主に中学生以上が中心となり、ターゲット設定との乖離が見られました。小学生へのチラシ配布等の取り組みを行ったものの、集客には課題が残る結果となりました。この点については、今後のターゲット設定や広報手法の見直しに活かす必要があります。 また、屋外開催という特性上、気温の低さや風の強さ、スペースの制約といった環境面の課題も見受けられました。来場者の快適性を十分に確保しきれなかった点は、今後改善すべき重要な課題であると認識しています。

	以上を踏まえ、本事業は一定の成果を上げた一方で、ターゲット設定および環境面への配慮に関する課題も明確となりました。
今後の活動予定	※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 今後の沼津ハイポートの活動につきましては、メンバーの代替わりを行いながら、その時々メンバーが主体となり、地域活性化に資する取り組みを継続していく方針です。 まずは新規メンバーの募集を行い、団体の認知度向上を図るとともに、活動の基盤強化に努めます。 今後の具体的な取り組みとしては、過去に雨天により中止となった沼津駅でのクリスマス音楽イベントの再実施や、「星空映画庭」の第2回開催などを検討しています。これらのイベントを通じて、地域に新たなにぎわいを創出したいと考えています。また、お声がけいただいている各種イベントにつきましても、ボランティアとして積極的に参加していきたいと考えています。 さらに、SNS等を活用しながら、沼津市内の高校生をはじめ、子どもから大人まで幅広い世代、我々の活動を周知し、より多くの方に沼津ハイポートの活動を知っていただけるよう広報を行っていきます。 なお、今後の事業展開にあたっては、必要に応じて補助金の活用も検討しつつ、自己資金とのバランスを図りながら、持続可能な運営体制の構築を目指します。